

平成25年度第2回長崎県スポーツ推進審議会会議録(要旨)

<p>開催日時</p> <p>開催場所</p> <p>出席委員</p> <p>出席職員</p>	<p>平成26年3月26日(水) 午後1時30分～3時</p> <p>セントヒル長崎3階 紫陽花の間</p> <p>小原委員、野田委員、釣船委員、中野委員、松山委員、今川委員、吉村委員、土岐委員、安里委員、山浦委員、中川委員、太田委員、佐藤委員、柳澤委員、山田委員、小関委員、長尾委員</p> <p>藤原国体・障害者スポーツ大会部長、川口次長、宮下県民スポーツ課長、浦大会総務課長、大庭障害者スポーツ大会課長、森競技力向上対策課長、山口参事、後藤体育保健課参事、島本総括補佐、田副総括補佐、松下長寿社会課長補佐、小柳課長補佐、上田課長補佐、井上係長、井手指導主事、(公財)長崎県体育協会 古川事務局長</p>
<p>会の成立</p> <p>開会</p> <p>あいさつ</p> <p>議長選出</p> <p>協議事項</p>	<p>委員20名 出席者17名</p> <p>藤原 国体・障害者スポーツ大会部長 あいさつ (省略)</p> <p>会長を議長に選出</p> <p>(1)平成26年度長崎県スポーツ推進基本方針について (議長) 報告・説明事項の平成26年度各課の主要事業と関係するので合わせて説明して欲しい。 (それぞれ、各担当より資料に基づいて説明) 長崎県生涯スポーツ推進基本方針 県民スポーツ課より説明 長崎県の学校における体育・スポーツ推進基本方針 体育保健課より説明 長崎県競技スポーツ推進基本方針 競技力向上対策課より説明</p> <p>(議長) 基本方針と各課の主要事業と合わせて意見・質問等をいただきたい。事前に資料を配布してご意見を伺っていたが、この件についての意見は出ていない。</p> <p>(委員) 長崎県競技スポーツ推進基本方針は一般スポーツのことばかりで、障害者スポーツの視点が見えない。障害者にも優秀な素質をもった選手があり、本県からもパラリンピックに出場する選手が輩出されるだろう。障害者スポーツにも育成が必要である。どのような考えをお持ちか。</p> <p>(議長) 障害者スポーツの項目の中には育成強化ということで競技力向上を入れているが、競技スポーツの項目には入れていない。この件に関していかがか。</p> <p>(事務局) 競技力スポーツの基本方針の方に障害者が入っていないということで、育成強化をしないということではなく、本資料の主要事業に記載をしているが、選手の育成強化事業の中で、がんばらば大会に向けて取り組んでいる。パラリンピックは、具体的には時期的に先ということがあり、都道府県レベルでパラリンピックの支援をしているところについての把握はしていないが、情報収集して今後検討していく必要はあるのかと思う。</p> <p>(事務局) 委員が言われたことはそのとおりだと思う。ただ現状として障害者の競技力向上については、全国の自治体において9割以上が福祉部門が所管しているという状況で、今回、全国障害者スポーツ大会は厚生労働省から文科省に移ることで、全国障害者スポーツ大会とパラリンピックの競技のずれというのが少しずつ訂正され、全国障害者スポーツ大会に出た人が将来的にはパラリンピックに出てくる流れが少しずつ強化されて大きくなっていくだろうと思う。今すぐに国体の方の競技力向上の中に障害者スポーツを含むというのは、難しいのかなと思うが、流れとしては障害のあるなしに関わらず競技力の向上を全体的に進めていこうという流れはあるのだろうと思う。</p>

協議事項

(委員)

ただいまの説明で了としたいが、障害者スポーツの視点が文章の中に全く見えてこないのが不満である。しかし、流れとしては私も十分理解できるので、今後しっかり捉えながら対応していただきたい。

(議長)

国の方もこれまで、競技スポーツと障害者スポーツを別にしてきたのが、そういう流れに間違いはないと思う。この内容についてはまた検討していただくということにしたいと思う。

(委員)

学校体育に関する事で、今現在どれくらいの方が体育学習サポーターをしているのか。

(事務局)

体育保健課は市町教委を通じて募集をかけ希望があったところに派遣するというスタンスである。体育学習サポーターは、中学校に武道ダンス指導サポーターとして、柔道に25年度は3校、24年度は10数校派遣した。小学校は、25年度は長崎市内の5校に器械運動、水泳、陸上競技、ボール運動に10名ほど体育学習サポーターを派遣した。学校によって差があるが、概ね300時間程度は派遣できた。来年度は、県下全域に広げて、小学校の領域別に派遣し、中学校には武道、ダンスの派遣を考えている。

(委員)

取組として出ていてすごくいいと思うので、かなり前から他県ではされていることなので、早急にされたほうがいいと思う。先生の年齢を考えると難しい領域もあり、今の小学校から高校生まで経年的な運動を発達させると考えたときにも、急がれたほうがいいと思う。

(委員)

この学校体育におけるサポーター派遣は長崎県も前からされていることで、焦点化されて民間団体との協力ということで、本校もモデル校として昨年度させていただいた。素晴らしいアスリート派遣とか、県の体育保健課からいろいろ提示をしていただき、学校で実践させていただいた。そうすると、子ども達も体育が好きが100%で、地域家庭の学校に対する健康的な体力向上に関する経験もさせていただきすごく成果が上がっている。今年も内容を見させていただいたが、学校体育の充実のための先生方の研修、それを浸透させる体育主任が全職員にそれを知らせ、そして、サポーターで専門的な知識を学ばせていただき食育に関することもこの中に含まれているので、この事業はとても素晴らしいと思う。

(議長)

今後の見通しはどうか。

(事務局)

25年度は委員の学校に体育学習サポーターの派遣を行った。26年度は国庫事業の決定がもうすぐ決まるので、25年度並みには実施できるのではないかと進めている。体育学習サポーターは、小学校に器械運動、水泳、陸上とできるできないがはっきりした運動領域に関して、県から市町教委に募集をかけて、市町教委から希望をとって、こちらの予算と併せて、派遣をしたいと考えている。

(2) 長崎がんばらんば国体及び長崎がんばらんば大会を契機とする本県のスポーツ推進策について

(事務局)

県民スポーツ課より資料に基づいて説明

(議長)

事前に3名の委員から意見が出ている。委員からは生涯スポーツの推進の立場から、委員からはがんばらんば体操の普及について、中間報告に盛り込むというよりは実際取り組む段階での参考にさせていただきご意見をいただいた。委員からは、P7の関係団体の中に県すこやか長寿財団を入れて欲しいとのご意見で、これについては事務局とも相談し記載に入れる方向で検討したいと考えている。ほかに意見はないか。

協議事項

(委員)

資料23ページになるが、国体で充実した設備の活用でお尋ねと提案をさせていただきたい。今回、国体・大会が開催されるにあたり、諫早の競技場が整備され、その他にも開催市、町のスポーツ施設等も整備をされているが、このような施設を有効に活用するということがうたわれている。先だつてのスポーツ審議会の時にもお話をしたが、諫早の陸上競技場がV・ファーレンのホームグラウンドとなっており、このことによってJリーグで競技日程が決められて、今まで諫早の競技場を使用しての大会というのが、今回はV・ファーレンの試合があるから、日程や会場を変更してもらいたいということがあった。これだけに限らず様々なトラブルがあっている。県も経済効果等があつて、県でも唯一のプロのスポーツクラブということで、県を挙げて支援をしていることには一定の理解はできるが、このようなことは、V・ファーレンや今まで大会を組んでいるところが、事前にきちんとした調整をしながら県民スポーツの振興を図るべきだと思う。県民の税金をかけてV・ファーレンのためだけにやっていない。いろんな機会に話をしているが、ある一定の調整をしながら、パーフェクトにいかないとしてもバランスはとるべきだと思うが、その点についてお尋ねをしたい。

(議長)

理解をしたうえで、どうにかならないかということですが。

(事務局)

以前の審議会の中で、委員からも同じようなことを言われたが、ご承知のとおり、Jリーグの最終戦が11月の末にあり、その勝敗が決まらないと次のシーズンの日程が決まらないというアバウトな状況である。その中で、国際大会や全国大会とかどうしてもスタジアムでないといけない部分については、申し入れをして、調整をV・ファーレン長崎からJリーグに4大会ぐらい、ここはどうしても競技場を使いたいと、その際はアウェイで試合をしていただけないかと、そういった調整をしている。日程が1月下旬にならないとはっきりしないというのがあつて、各競技団体にもご迷惑をかけている。今年の障害者のスポーツ大会については、がんばらんば大会のリハーサル大会ということで、特に申し入れをして、アウェイで試合をしていただくことができた。ご要望はできるだけ承って伝えたいと思うが、他のクラブも各々スタジアムで試合があり、希望に沿えるようにできるだけことは努力をするが、どうしてもならない部分はみなさんにご協力をいただくということをお願いしたいと思う。

(委員)

十分理解はできるが、長崎に限らず、全国どこでもこのようなトラブルがあっているという話を聞いている。今年は、全国障害者スポーツ大会があり、5月の障害者スポーツ大会はリハーサル大会も兼ねているので、ご配慮いただいたことには感謝をしているが、これが終わって27年度以降を心配している。特に障害者や高齢者の大会等にはバリアフリーが整った競技場を使わせていただくことを是非考えていただきたい。V・ファーレンを通じて強くJリーグに意見を言っていたらいいと思う。

あと1点、全国大会が長崎県で開催されると決まってから、障害者スポーツの普及振興をこれを通じて推進していくんだと、図るんだという強い思いがある。全国大会に向けて、練習会場等を探すが、なかなか厳しい状況である。今現在月に2回、練習会場を探すのが本当に大変である。障害者スポーツ協会の担当者はあちこちで毎回苦労している。その中で今後の取り組むべき施策の中に、既存の競技施設を整備し、今後時代に即した施設整備を徐々に図っていくと謳われているが、ご検討をお願いしたいことは、鹿児島や福岡では、障害者の方が優先してスポーツを楽しめるという、総合スポーツ拠点整備されており、本県にも障害者のスポーツ拠点となる施設を整備して欲しい。これについては、大きな財源を伴うことなので、一般的にはいかないということは承知をしているが、障害者スポーツの普及振興の観点からはスポーツ拠点施設整備は必要である。残念ながら障害者スポーツの普及振興の観点から、今やっとスポーツ基本法の中にも、障害者スポーツの普及振興が明記されたような段階であり、障害者スポーツは一般スポーツに比べると遅れている。障害者スポーツというのは、一般スポーツよりもスポーツを身近なところで楽しめる施設があるということは大事なことであり、時代に即した施設整備を考えていただいて、総合的なスポーツ拠点の整備を考えていただきたい。

(事務局)

確かにそういった障害者スポーツの拠点施設は、関東や関西地区であるとか、2020年のパラリンピックの地域の拠点となるような県の施設を見ると素晴らしいものがあり、比較すると、長崎県の施設の見劣りというのはどうしても隠せない。障害者スポーツ大会は長崎県では始めて開催されるので、この開催の意味を我々は大きく捉えて、今後、これを開催したことによる効果を形として残すにはどうしたらいいのかというのを、真剣に考えていく必要がある。みなさま方におかれても、せつかくの中間報告、あるいは今後の最終答申に、文章整理の中に入れるかどうかについて検討願いたいと思う。

協議事項

(議長)

新しい中間報告の中にも、障害者スポーツは目玉の一つになっているので、方向付けは必ずしたいと思う。現在有る施設等を有効に活用するという意味では、県体協の方でもいろんな競技団体を取りまとめているので、障害者の方々の利用についても配慮するようなことをご検討いただけたらと思うが、県体協はいかがか。

(事務局)

今の段階では長崎国体に向けて、競技団体と連携を図っている状況の中で、これまで障害者に対する支援は具体的にはなにもしていない。今後、連携は必要と思うが、まだそこまでは関係ができていない。まずは競技団体の競技力向上を図っていこうと考えている。

(議長)

国体後ということで、ご検討いただけたらと思う。

(委員)

4ページの下から4行目、総合型地域スポーツクラブ(拠点クラブの設置)とあり、「拠点クラブを設置し総合型地域スポーツクラブの自立的な運営の支援をします。」となっているが、拠点クラブを設置するというのは県が設置するのか。イメージが湧かないので説明して欲しい。

(事務局)

拠点クラブというのは、文科省が24年3月にスポーツ基本計画の中で、地域スポーツクラブの育成の推進の中での大きな施策目標として、拠点クラブが広域市町村圏を目安として活動をするということで、全国で300ヶ所程拠点クラブを作りたいということである。これは県が作るということではなく、現在の総合型スポーツクラブの中で、非常に活動が活発で、各クラブを支援できるような拠点クラブを育てていこうということで、県北、県南で1箇所ずつぐらいの立ち上げを目指していきたいと思っている。そこから指導者とかいろんなクラブを支援するための活動をやっていただきたい。長崎県には36クラブあるので、それを拠点クラブが支援していくと考えている。

(委員)

中間報告の資料の3ページに、生涯スポーツにおけるスポーツの捉え方で介護予防というのがあがるが、新聞の記事で健康寿命のことが書いてあり、本県は男性が45位、女性が39位と全国で低い位置にある。介護予防は市町村が主体となっているが、県として、今後どのような取り組みをしていただけるのか。

(事務局)

8ページ、福祉保健部で健康ながさき21というのがプランを作っていて、スポーツ推進策も健康寿命と併せてやっていかなければならないと思っている。例えば、一番手ごろなニューススポーツの普及やウォーキングの普及、ロコモティブシンドロームというのがあるが、運動器の機能低下がお年寄りになるとあるので、そこを改善できるようなプログラムをやっていきながら進めていきたいと思っている。ちなみに、新上五島町を中心に総合型クラブを絡めて、スクエアステップという介護予防につながるプログラムを作っており、保健所や福祉施設と連携をしながら、ご高齢のかたでも予防に役立つプログラムということで、生涯スポーツの中で県内でも広げていきたいと考えている。

(委員)

今の関連で、話を聞いても介護と健康づくりの内容もするスポーツなので、するスポーツの中にはいると思うが、体系図ではここは黄色になるほうがわかりやすいかと思うのと、上の観るスポーツ、支えるスポーツの高齢期の最後が頂点になっているが、これも全体としての流れからすると最後が頂点になるのはなんとなく腑に落ちない。最後はなくなっていく。トップアスリートならわかるが、生涯スポーツだったらどうなのかなと、体系図の解釈が難しいと思う。

(委員)

24ページのスポーツ施設の充実と活用というところで、利用する人たちの声をどう生かしているのか。例えばダンスを行うときには、鏡がある施設などを探すが、どこにそういった施設があるのか、探す上ですごく不便を感じている。もし改修とか計画があるのであれば、現在利用している人たちや利用する側の人たちの声を聞いて、どういうものを備えたらいいのか、どういう施設が望ましいとか、利用者の声を反映させて施設の環境を整えていただきたいと思う。

協議事項	<p>(事務局) 指定管理の施設を存知している立場からであるが、総合体育館とビックNスタジアムではアンケートで苦情を入れていただくようなものを置いており、例えば、子ども用のおしめを替える台を作してほしいとか、指定管理を受けている会社で定期的に行っている。ただ、鏡があるところはどこだとかの詳しいところはなかなか難しいのかなと思う。県とか市町でやり方が違うので、そういうことがありましたよということで、県内の担当者会議等で話をしていきたいと思う。</p> <p>(議長) まとめの中ではそこまで詳しく踏み込めないと思うが、ご意見としていただいていたので、担当に情報は流していただけたらと思う。</p> <p>(委員) 生涯スポーツについて、高齢者のところもきれいに入っていて非常に嬉しかった。よくできているなと感じた。障害者のところになると、もう少し具体的なものを入れていただければと感じた。先ほどの諫早の陸上競技場の件だが、県の意向もわかるが、先のことが見えない。必要なことは、期間を少し切っていただくとか、だいたい5年先にはそういった形を、3年や5年先には光を見せてほしい。我々の方も我慢をして、方向性も色々根底から変えていかなければならないので、何年か先にはだいたい形が見えるように頑張っていたいただきたいと思う。</p> <p>もう1つ学校体育の文言のところで、生きる力とは何だろうか、いろんな人が見てわかるような表現が大事だと思う。また、素朴な疑問で一般の方々が思うところで、学校体育とスポーツとは、学校の体育はなにを教えるのか、スポーツとの違いは何だろうか、学校の体育とは何を教えなければならないのか、というようなところを入れていただけたらいいのではないか。</p> <p>(議長) 生きる力については、3つの力があり、個々に説明コラムもあるので、入れてみるとか、学校体育については、ちょっと考えさせていただけたらと思う。他にないか？なければ今回出された意見を参考に推進策に生かせるような中間報告を作りたいと思う。4月に知事に中間報告として提出する予定なので、会長に一任いただき、事務局と相談して作り上げたいと思う。</p> <p>(委員) 最終答申はいつか。</p> <p>(議長) 平成27年である。あと一年ほどあるが、最終答申してそこから予算として生かしていくためには、中間報告を活用して事務局では予算化するとか、そうしないと1年遅れになるので、中間報告も重要である。</p> <p>(委員) 予算等の兼ね合いもあっての中間答申の重要性の認識が足りなかったもので、なおさら23ページの障害者スポーツの拠点施設の整備については、もう少し表現としてご検討をお願いしたい。</p> <p>(議長) 検討させていただきたい。中間報告作成をご一任いただいてよいか。</p> <p>(委員) 異議なし。</p>
報告・説明事項	<p>(1) 平成26年度各課の主要事業について(説明省略)</p> <p>(2) 第69回国民体育大会、第14回全国障害者スポーツ大会開催に向けての準備概要について (それぞれ、各担当より資料に基づいて説明) 第69回国民体育大会 大会総務課より説明 第14回全国障害者スポーツ大会開催 障害者スポーツ大会課より説明</p> <p>(3) 平成25年度長崎県スポーツ表彰について(説明省略)</p> <p>(4) 各種競技大会における主な成績について(説明省略)</p>

あいさつ	藤原 国体・障害者スポーツ大会部長 あいさつ（省略）
その他	（事務局） 次回の本審議会は委員改選後 8 月上旬に開催を予定している。
閉会	15 時終了